

舟入小学校体験学習

9日18日（金）、「小学校教員志望者対象の体験学習」として、広島市立舟入小学校を訪問しました。1年生13名、2年生3名の計16名が参加しました。



16名は、1～6年生のクラスにそれぞれ分かれ授業を見学しました。授業見学の後には、校長先生より1時間あまり講話をしていただきました。「教師になって嬉しかったこと」や「小学校教師の一日」、また「将来教師になろうとする人へのアドバイス」などについて、校長先生自らの体験を交え、わかりやすくお話しくださいました。

実際の授業を見学し、また講話を聴くことによって、生徒には様々な発見・気づきが生まれました。校長先生をはじめ、舟入小学校の先生方、児童の皆さん、本当にありがとうございました。生徒にとって有意義な経験になりました。





【体験学習に参加した生徒の感想の紹介（一部）】

○誰かが発表するとき、みんなが話す人の方を向いてよく聞いていて、反応がよく授業の雰囲気よかったです。廊下を歩けばたくさんの児童のみなさんが挨拶をしてくれて嬉しかったです。

○細かいところを直接「良いね」と言ったり、「おおっ!」「なるほど」など、リアクションでほめているところも児童の心をつかみ授業に集中させるテクニックなのかと感じた。

○自分がなぜ教師という職業に興味を持ったのか深く考えることができた。校長先生がおっしゃった「一人の人生の一部にこんなにも深く関わることは素晴らしいことだと思う」という言葉には、特に胸を打たれた。

○今まで生徒として授業をしている先生の姿しか見ていませんでしたが、多くの子どもに影響を与える存在であるが故に様々なところで努力をしているのだなと強く思いました。

○先生方からのアドバイスで心に残ったことは、「社会の責任を果たす」ことや「常に学ぶ姿勢を持つ」ことです。先生である前にまずは社会人としての常識をおさえておきたいです。

○あらためて小学校教師を目指したいなと思った。まず、「教師になって嬉しかったこと」を聞いて、「子ども達の思いやりや、日々少しずつ楽しいことや、やり甲斐を感じることができる」というのが一番心に残った。自分が「子どもが好き」なだけではなく、子どもの成長を見られるというのは幸せだと思う。仕事は簡単ではなく、一日中忙しそうで体力的にも大変そうだけれども、それ以上にやり甲斐のある仕事だともう一度確認した。

○子どものことを考えるのは大切です。でもそれ以前に自分がどれだけ子どもに影響を与えるか理解した上で自分自身向上させていかないとダメです。どんな夢を叶えるにしても、人として成長していきたいと思っています。